

平成22年度 第8回安曇野市文化振興計画策定市民委員会 会議概要

1	協議会名	平成22年度第8回安曇野市文化振興計画策定市民委員会
2	日 時	平成23年1月20日 午前10時から午前11時30分まで
3	会 場	安曇野市豊科交流学習センター“きぼう”学習室1
4	出席者	笹本委員長、百瀬副委員長、三原(好)委員、岡本委員、濱委員、小山委員、伊澤委員、三原(寿)委員、矢ノ口委員、細川委員、石田委員、降旗委員、鈴木委員、
5	市側出席者	丸山教育長、飯沼教育次長、竹内文化課長、山田文化振興係長、三澤文化振興係主査
6	公開・非公開の別	非公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成23年1月21日

協 議 事 項 等

1	会議の概要	<p>1 開 会 (竹内課長)</p> <p>2 挨拶 (丸山教育長・笹本委員長)</p> <p>3 協 議</p> <p>(1) 文化振興計画素案について</p> <p>(2) その他</p> <p>4 閉 会 (竹内課長)</p>
2	協議概要	<p>(1) 文化振興計画素案について</p> <p>資料説明 (事務局)</p> <p>事務局・今回の資料には行政経営会議・博物館協議会など関係部局より意見をもらい反映させてある。委員長・全体的に外部の意見により変更した点について教えてほしい。</p> <p>事務局・行政からの意見を反映させてある。業者ではなく、市民と作った点が評価された。予算の裏づけのある事業、別の計画との整合性を問われた。</p> <p>委員長・この計画は、他の市町村で作ったものとは違い、みんなで作ったもので、これは素晴らしいことだ。過不足があれば意見をほしい。</p> <p>第1章について</p> <p>委員・全体の基調が「恵まれた安曇野」で一貫しているが、安曇野市には山間部もあるので、平野部のみの表現は良くない。</p> <p>委員長・安曇野はいかに多様であるかをはじめに語るべきである。合併により多様な文化を持つようになったことを市民に気づかせるのが良い。</p> <p>委員・文化一般の定義と安曇野市の特徴的なものが混在している。これを正した方が、市民にとっても読みやすい計画となる。</p> <p>委員長・もう一度文案を作り直して提案してほしい。</p> <p>委員・「のべ7,000人」という表記があるが、計測した期間を入れたほうが良い。</p> <p>委員長・数字が先行している。一年間平均とか、分かるような表現にして欲しい。</p> <p>事務局・美術館・博物館の学習会等の講座参加者だけの集計でよいのか？他にも利用者がいるが・・・</p> <p>委員長・単位が分からない。「学習会、講座だけでも」としても良い。どうすれば一番効果的か勘案してほしい。</p> <p>第2章について</p> <p>委員・「次の分野を取り扱う文化」という表現が変だ。「取り扱う」を取った方がよい。</p> <p>第3章について</p> <p>委員・先人の一覧のところに「等」の一文字をいれ、多くいることを示したい。</p> <p>委員長・伝統的な道祖神祭りの中で、「三郷の道祖神祭り」という書き方で通じるのか？「三郷の道祖神祭り」のどこが重要なのか示したい。例えば、「御柱」とか大事なところを示した方がよい。写真を入れたときにどれなのか分からなくなる恐れがある。</p> <p>委員・「道祖神祭り」は、さまざまな地域で行っていることを含めているので、個別にすることは難しい。</p> <p>委員長・他の地域と違って珍しいという点を示すには、どこが珍しいのか示す必要がある。「小倉の御柱」とか、具体的な例を挙げると分かりやすいと思う。</p> <p>事務局・「お船祭り」は穂高神社のものだと分かり易いが、「三郷」のもののイメージがわからないので、ここは</p>

スタイルを変えて提案したい。

委員長・・分かりやすく文章を変えさせていただきたい。

この部分は写真を入れると素敵なものになる。写真を入れた段階でまた意見があるかもしれない。

委員・・「信州サーモン」「黒豆」が載っているが、「わさび」や「ニジマス」が載っていない。新しいものが載っているが、伝統のものが載っていない。

委員長・それこそ文化なので、新しいものだけでなく「ニジマス」「わさび」を入れてほしい。

#### 第4章について

委員・・短期・中長期の意味を入れなくて良いか。

事務局・短期は2～3年、中長期はそれ以上という表記を入れたい。

委員・・現在の施設の活動が載っており、別のページに、「廃止に合わせ資料を集約し整備する」とある。これだけ見ていると良くわからない。

委員長・「見直しを図る」ということを入れておかないとわかりにくい。

委員・・博物館の活動について、具体的な活動が穏当な表現になった。この計画の本文中に入れることは問題があるかもしれないが、別表の形で良いので、施設に対する提言をまとめて載せたい。例えば、冬季休館などの運営面での意見を結集したい。

委員長・個別具体的なことまでこの委員会では書けない。大きな流れを作るこの委員会に抵抗が出てきてしまう。現状と見直していく事例を載せる程度にしておきたい。

委員・・博物館協議会での議論でも、冬季休館はすべきでないという意見であった。個別具体的なことは載せるべきでない。

事務局・冬季休館等の具体的なことは相応しくない。美術館・博物館で大きな収益を上げることは、この地域では出来ない。収益の上がらない施設については、行政で行っていきたい。この計画によって萎えてしまうということもあると思う。

委員長・普通、図書館で収益は考えない。博物館や美術館もそういうことだと思う。

委員・・現状の活動内容を示しているので、「～します。」という表現は、「～しています。」とあらためた方がよい。

委員・・商工観光との連携について、「文化芸術を安曇野ブランドとして高めます」という表現でいいのか？

委員長・「文化芸術を高め、地域の活性化に・・・」とつなげた方がよい。「安曇野ブランド」のところは削除した方が分かり易い。「文化資源は貴重な観光資源ともなります。」の一文も不要。

委員・・敬称の統一を。

委員・・「明るい安曇野、明るい未来」という表現がダブっている。「豊かな未来」としたい。

「市が出捐する」という意味が分かりにくい。一般的な言葉にした方がよいと思う。

事務局・行政用語でもある。

委員長・注はつけたくないので、書き換えをして、一般の人が読んで分かり易い文章にしたい。

委員・・井口喜源治記念館や礫山美術館が載っていない。民間の施設はどうするのか。

委員長・入れるか、入れないか決めておいた方がよい。人物の方で荻原礫山がある。館を入れるかどうかによって、外すこともありうることになる。

事務局・市で運営しているものに限定して書いている。

委員長・具体的な取り組みは、市が取り組むということか？計画の主体は市か、それとも市民か？「水の恵みに感謝し、その保全にとり組む」「文化を知る、学ぶ」というのも市なのか、市民なのか？市が行うことと、そうでないことを分けたほうが良い。

「見せたい安曇野の文化」というのは、目が不自由な人に対して配慮していないという意見はもつともだ。「感じてほしい」にしたらどうか。「～たい」で統一するなら、「感じさせたい」の方が良いか。

外部連携の問題も載せられないか？閉じられたものでなく、広い外部とつながりを持ちたい。例えば、信州大学や美術関係の外部団体がある。外部の力を利用し、というような文言を入れたほうが良い。

「映像等の記録」については、「記録」よりも、「継承」の方が優先である。

「学習を深めます。」というの、市なのか、市民なのか？「学習条件を整えると共に、発信を行います」とする。

#### 第5章について

委員長・特にない。

議論の足りない点は事務局へ連絡してほしい。

委員の皆さんには、この計画の推進委員になっていただき、引き続き文化を高めていくための中心的役割を担ってほしい。

